

防災協だより

【発行所】(公社)神奈川県高圧ガス防災協議会

横浜市中区尾上町 1-4-1 (関内 ST ビル 11 階) 電話 045-212-1454

【編集責任者】企画部会長 亀崎 宏行

<https://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>



新年のご挨拶

令和 5 年 1 月吉日

公益社団法人 神奈川県高圧ガス防災協議会

会長 布施 重男



新年明けましておめでとうございます。

会員並びに関係各位におかれましては、健やかに清々しく令和 5 年の新春を迎えられたことと謹んでお慶びを申し上げます。また、会員の皆様方におかれましては、日頃より高圧ガスに係わる事故防止と保安の維持にご尽力、また当協議会事業全般にわたりご支援ご協力を賜り誠にありがたく、改めて感謝御礼を申し上げます。

さて昨年を振り返りますと、2 月にロシアがウクライナに軍事侵攻し未だに悲惨な状況が続く中、北朝鮮は 30 回を超えるミサイル発射を繰り返す等、不安・緊張脅威は高まる一方であります。自然災害も多く発生、日本では福島県沖や北海道での地震もあり、そして各地での集中豪雨や伊豆に上陸した台風 8 号でも甚大な被害を被りました。異常気象は世界各地でも発生、40 度を超える気温、酷暑熱波が襲い、またパキスタンでは豪雨により国土の 3 分の 1 が水没したとの報道もあり本当に憂慮すべき事態に陥りました。

また、7 月に安倍元首相が奈良にて銃撃され死亡、9 月にはイギリスのエリザベス女王が逝去されました。10 月に韓国での雑踏事故で 156 名もの犠牲者が出た事、また高圧ガス事故関連では、6 月にヨルダンにおいて、塩素ガスが噴出爆発し 12 名の方が死亡、9 月には愛知県で L P ガスボンベを積載した車両が荷崩れを起こし、約 120 本ものボンベが落下散乱、引火爆発し 1 名の方が亡くなった痛ましい事故もありましたことも記憶に新しいところです。新型コロナウイルスは 3 月には蔓延防止等重点措置は全面解除となりましたが年末を迎え第 8 波の不安が懸念されております。引き続き感染防止対策に万全を期さねばと思うところでございます。

一方、当高圧ガス防災協議会の事業を顧みますと、諸々の事業は感染拡大防止を考慮しながら規模を縮小する等工夫しながら実施、10 月 19 日に第 50 回となる神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練は、横浜みなとみらい耐震バースにて挙行することが出来ました。地震防災意識を高め、関係機関との連携体制の充実、被害の拡大防止を目的として大変有意義な訓練であったと思います。

特に昨年は昭和 47 年以来創立 50 周年でもあり、5 月に記念総会をホテルメルパルク横浜にて開催、また 50 周年事業の一つでもある 50 周年記念誌『防災協 半世紀の道程』を発刊させていただきました。発刊にあたりベテラン OB を交え座談会を開催、今後の行方を模索するなか貴重なご意見を戴く事が出来ました。

同時に関東東北産業保安監督部長、神奈川県知事をはじめ関係各界からのご祝辞を賜りましたこと、記念誌発刊にお力添えご協力を戴きました皆様に心より感謝御礼を申し上げます。

本年も当高圧ガス防災協議会は、心新たに主事業であります高圧ガスの運送・移動に係わる講習及び教育をはじめ、防災出動訓練等もより充実させ、県ご当局並びに警察消防等関係機関と連携し、事故災害の防止と自主保安の推進確立を目指し地域社会に『安全・安心』を提供できますよう鋭意努力して参ります。

引き続き、会員並びに関係各位のご支援ご協力をお願いするとともに、速やかなコロナの終息と本年も皆様方にとって、事故災害のない明るく希望の溢れる年となりますよう、切にご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

神奈川県くらし安全防災局防災部
工業保安担当課長 内山 和子



新年あけましておめでとうございます。

公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会会員の皆様には、令和 5 年の新春を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から皆様には、神奈川県の高圧ガス防災事業について、自主保安活動を積極的に展開していただくとともに、本県の工業保安行政に、ひとかたならぬお力添えを頂き、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症については、相次ぐ変異ウイルスの出現等により感染者の増減を繰り返していますが、昨年中の県の各種事業については、通常の業務に戻して実施することができました。

貴協議会におかれましても、感染拡大防止を図りながら「高圧ガス運送基準指導講習会」や「運送指導員講習会」の定員縮小に伴う追加開催など、高圧ガスに携わる人材の育成、防災意識の向上に努めてられましたこと改めて感謝申し上げます。

こうした御努力のお陰で高圧ガス運送員の保安意識が向上し、近年、高圧ガスの運送途上における大きな事故は、発生しておりません。また、昨年 10 月 19 日に開催した「第 50 回高圧ガス地震防災緊急措置訓練」は、積極的な周知は控えさせていただいたものの、3 年ぶりに一般の方の参加も再開させて頂きました。当日は、貴協議会から訓練の運営における応援に加え、空気呼吸器装着訓練及び運送途上訓練に御参加をいただき、日頃の鍛錬の成果が十分に発揮され、大変有意義なものとなりました。特に高圧ガスの運送途上訓練は、ガスの漏えい、拡散を想定した緊急措置及び除害活動等に係る実践的な訓練で、警察や消防との連携を再確認できたものとなりました。

貴協議会は、警察・消防をはじめ、関係機関との緊密な連携・協力関係のもと、移動途上における高圧ガスに係る災害防止に努めてこられ、昨年 50 周年を迎えられました。

新型コロナウイルスの感染は、国内においては新規感染者が高止まりするとともに、新たな変異ウイルスが現れるなど、予断を許さない状況が続いています。一方、大規模な地震などの災害が発生した場合、高圧ガスの保安の確保は、ライフラインの復旧に不可欠なものであり、皆様に期待される役割は、非常に大きいものがございますので、今後とも運送中の事故防止に向けた取り組みをお願いいたします。

また、第 12 次地方分権一括法の公布により、本年 4 月から液化石油ガス法に関する事務及び権限が指定都市に移譲されることになり、円滑な移譲に向けて指定都市と準備を行っておりますので、申し添えます。

最後に貴協議会の益々の御発展と、会員の皆様の御健勝をお祈りするとともに、この一年が事故災害ゼロの明るい一年になることを祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

〔謹賀新年〕 理事・役員一同

会 長	布施 重 男	理 事	宇佐美 雅 彦	理 事	藤 田 昌 司
副 会 長	森 川 清 二	理 事	宇都宮 仁	理 事	藤 村 尚 志
副 会 長	亀 崎 宏 行	理 事	大 槻 修	理 事	益 子 陽 一
副 会 長	西 川 隆 浩	理 事	上梅澤 和 昭	理 事	三 上 裕 司
副 会 長	福 本 康史郎	理 事	小 谷 哲 雄	理 事	森 山 正 一
専務理事	椎 木 孝 治	理 事	小 林 寛	監 事	安久井 満
理 事	荒 川 栄	理 事	佐 波 充 明	監 事	大 住 智 幸
理 事	井 上 康	理 事	廣 瀬 英	監 事	平 田 芳 則

令和4年度（第17回）神奈川県高圧ガス火薬類保安大会

令和4年度（第17回）神奈川県高圧ガス火薬類保安大会が10月25日（火）神奈川県立県民ホール（小ホール）にて開催され、当協会からは会長表彰として4事業所及び1名が受賞されました。

また、今年もコロナ禍による影響で受賞者と関係者を含む事前登録者のみによる必要最小限の開催となりましたが、今年から記念講演は復活したものの、例年実施の表彰式後の祝賀パーティーは中止となりました。



第17回神奈川県高圧ガス火薬類保安大会 令和4年10月25日 於神奈川県民ホール

■ 公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会 会長表彰(敬称略)

優良防災事業所

■ ENEOS(株)川崎製油所

■ 昭和電工(株)川崎事業所(*1)

保安功労事業所

■ ビューテックローリー(株)川崎営業所

■ 丸一輸送興業(株)

保安功労者

■ ENEOS(株)根岸製油所

荒川 栄

■ 記念講演

〈演題〉 「神奈川の地震災害 ～正しく知り、備えよう～」

〈講師〉 神奈川県温泉地学研究所 所長 板寺一洋氏

(*1)保安大会当時の社名(2023/1/1付で昭和電工(株)は(株)レゾナックに社名変更)

2022年度（第50回）神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練

2022 年度（第 50 回）神奈川県高圧ガス地震防災緊急措置訓練が横浜市みなとみらい耐震バースにおいて 10 月 19 日（水）午後開催されました。

当日は幸いにも天候に恵まれ、訓練は田邊くらし安全防災局防災部長（訓練本部長）の開会挨拶にはじまり、「高圧ガスの燃焼特性の紹介：（一社）神奈川県高圧ガス保安協会」、「高圧ガス基本措置訓練：（一社）神奈川県高圧ガス流通保安協会、（公社）神奈川県高圧ガス防災協議会」、「高圧ガス地震防災訓練（LP ガス緊急措置、復旧訓練）：（公社）神奈川県 LP ガス協会」、「高圧ガス地震防災訓練（運送途上緊急措置訓練）：（公社）神奈川県高圧ガス防災協議会」と訓練が順次進み、最後に（公社）神奈川県高圧ガス防災協議会布施会長の閉会挨拶をもって終了となりました。

尚、今年度は事前届け出制ながら一般見学者（会員主体）を募り実施されましたが、コロナ禍影響もあり、例年より若干少なめの動員数となりました。



開会式



空気呼吸器装着訓練



LPG散水処置



塩素容器処置



負傷者救助



閉会・消防挨拶



閉会・防災協挨拶



閉会式

ミニ防災訓練の実施事業所と実施日

2022 年度のミニ防災訓練は、予定事業所における諸事情により、6 地区のうち、横浜、県西地区を除く 4 地区での実施を予定しています。

尚、今年度もコロナ禍影響もあり、地区・会場によっては見学者を限定しての実施を予定しておりますので、何卒ご理解とご協力をお願いします。

地 区	実施予定日（実施済み含む）	実施事業所名
川 崎	調整中	ENEOS(株)川崎製油所
横 浜	-	事業所都合により中止
横 三	都合により中止、次年度繰越し	(株)三春商会
湘 南	2023年 2月14日	地区合同（平塚競輪場）
県 央	調整中	東ホ一俣
県 西	-	小田原ガス㈱

2022年度運送員及び運送指導員講習会の開催実績報告

本年度の運送員 / 運送指導員講習事業は 12 月 7 日の横浜：神奈川公会堂をもって終了しました。

本年度もコロナ禍影響は残っていましたが、従来の 7 会場に戻し、実施しました。

地区	開催日	会場	今年度受講者数		昨年度受講者数	
			運送員	運送指導員	運送員	運送指導員
川崎	7月15日	かわさき保育会館	198	-	174	-
横三	7月25日	横須賀市文化会館	105	103	131	121
県西	8月19日	小田原市生涯学習センター	187	-	201	-
県央	9月 7日	厚木市文化会館	275	318	313	310
横浜 1	10月 5日	神奈川公会堂	272	269	184	188
湘南	11月 9日	藤沢市民会館	236	187	307	276
横浜 2	12月 7日	神奈川公会堂	229	151	236	206
計			1,502	1,028	1,546	1,101

※県央、湘南地区の昨年度受講者数はそれぞれ 2 会場開催の合算データです。

※川崎会場は午前/午後入替制で運送員講習を 2 回実施しました。



川 崎



横 三



県 西



県 央



横 浜 1



湘 南



横 浜 2

※2023年度は県央地区講習予定会場が立替工事等で使用できず、会場選定により受講受入数に制限がかかる可能性があります。代替処置として県西地区での指導員講習追加（従来は運送員講習のみ開催）など、県西、湘南、横浜各地区への分散を図る計画ですのでご理解とご協力をお願いします。

高圧ガス運送途上事故防止についての取組み強化について

容器を運送する際は、安全点検を忘れずに

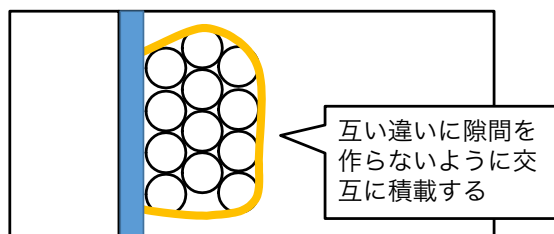
神奈川県くらし安全防災局防災部消防保安課

● 転倒落下を防止するため、出発前の必須点検 ●

- 1 積載した容器は安定していますか？
- 2 容器の固縛が緩んでいませんか？
- 3 アオリ板、パワーゲートを閉めましたか？
- 4 エビカン*はきちんとかけましたか？

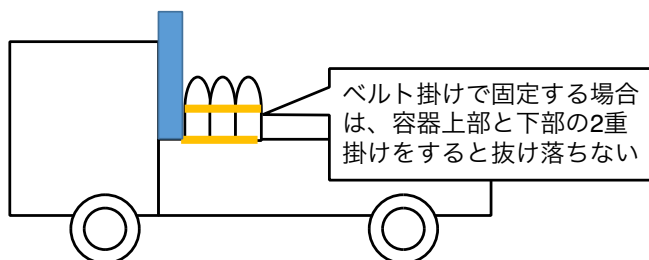
*積載車両のアオリ板を固定する金具

～容器の有効な緊縛の例(縦積み)～



(↑) 積載車両を上空から見た図

容器は千鳥配置で荷台前方に寄せ、
ベルトを2段掛けし緊縛する



(↑) 積載車両を横から見た図

アオリ板を超える容器がある場合
はベルト掛けをする

*高圧ガス容器を車両に積載して移動する際は、積載方法・移動方法について保安上必要な措置を講じることが義務付けられています。

事故事例

令和 4 年 10 月 5 日早朝に新東名高速道路厚木南IC出口付近で、トラックが回収容器を運送していた際に、アセチレン 41 ℓ 容器 24 本が荷台上で転倒し、アオリ板を開放していた側面から路上に落下する事故が発生しました。

県外ではLPボンベの落下、火災により 3 人が死傷するという痛ましい事故が発生しています。こうした事故を防止するため、出発前や駐車時には次の確認を徹底してください。

【問題点 1】

回収した容器を車両に積載した際に容器をベルトで固定したが、**上下二段にベルトを掛けていなかった**ため、高速道路出口の減速帯で減速した際に、ベルト下部から容器が抜け落ち、荷台に散乱した。

Point!

容器を車両に積載し移動する際は、
・ **容器が緩みなく緊縛されていること**
を出発前や駐車した際などに確認してください。

【問題点 2】

アオリ板を閉め忘れたまま走行したため、荷台に散乱した容器が路上に転落した。

Point!

容器を車両に積載し出発する前に行う点検の項目を見直し、
・ **アオリ板とパワーゲートが閉まっているか**
・ **エビカンがしっかりかけられているか**
を確認するようにしてください。
徹底して出発前の点検を実施するよう社内教育を行ってください。

例えば・・・

荷役作業をしたときは、出発前に必ず車両を一周し
安全点検を行うよう社内で規定する

2022年度危険物運搬車両に対する路上取締りの実施結果について

1 実施期間

2022年11月1日から30日までの1か月間

2 実施内容

この路上取締りは、警察庁生活安全局の協力依頼に基づき毎年11月に実施しているもので、危険物（火薬類、高圧ガス、消防危険物、毒物及び劇物、放射性同位元素）を運搬している車両を対象に県（消防保安課及び関係地域県政総合センター環境部）又は指定都市消防局（横浜市、川崎市、相模原市）、警察及び消防機関が合同で実施しています。

3 高圧ガスに係る路上取締り実施結果概要

(1)2022年度実施結果

路上取締りを行った77台のうち14台に違反があり、その内、一般高圧ガス運搬車両が11台、液化石油ガス運搬車両が3台でした。また、運搬形態別の違反件数は、タンクローリー車が0台、その他（バラ積み）の車両が14台でした。

表1. 路上点検結果総括表

(単位:台)

実施機関	実施年月(回数)	タンクローリー						その他						計					
		点検台数		適合台数		違反台数		点検台数		適合台数		違反台数		点検台数		適合台数		違反台数	
		一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石
消防保安課	2022年11月 (8回)	0	2	4	2	0	0	9	2	8	2	1	0	13	4	13	3	1	0
横浜市	2022年11月 (14回)	2	4	2	4	0	0	10	5	8	5	2	0	12	9	10	9	2	0
川崎市	2022年11月 (5回)	0	1	0	1	0	0	10	2	3	2	7	0	10	3	3	3	7	0
相模原市	2022年11月 (3回)	0	1	2	1	0	0	1	3	1	1	0	2	3	4	3	2	0	2
県央地域県政C	2022年11月 (4回)	0	0	0	0	0	0	4	2	3	2	1	0	4	2	3	2	1	0
湘南地域県政C	2022年11月 (7回)	0	3	0	3	0	0	5	2	5	2	0	0	5	5	5	5	0	0
県西地域県政C	2022年11月 (2回)	0	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	1	0	3	0	2	0	1
合 計	(43回)	2	12	8	12	0	0	39	18	28	15	11	3	47	30	37	26	11	3

なお、違反車両の業態別内訳は、次のとおりで、運送業者及び販売業者車両の違反件数が多くなりました。一層の法令遵守が求められます。

表2. 違反車両の内訳 (単位:台)

	運送業者	販売業者	工事業者等	合 計
一 般	7	3	1	11
(内、県外)	(5)	(0)	(1)	(6)
液 石	0	3	0	3
(内、県外)	(0)	(2)	(0)	(2)
合 計	7	6	1	14

(2) 2022年度路上取締りに係る違反・不備による指導の内容

主な違反及び不備事項は、次のとおりです。

主な違反事項

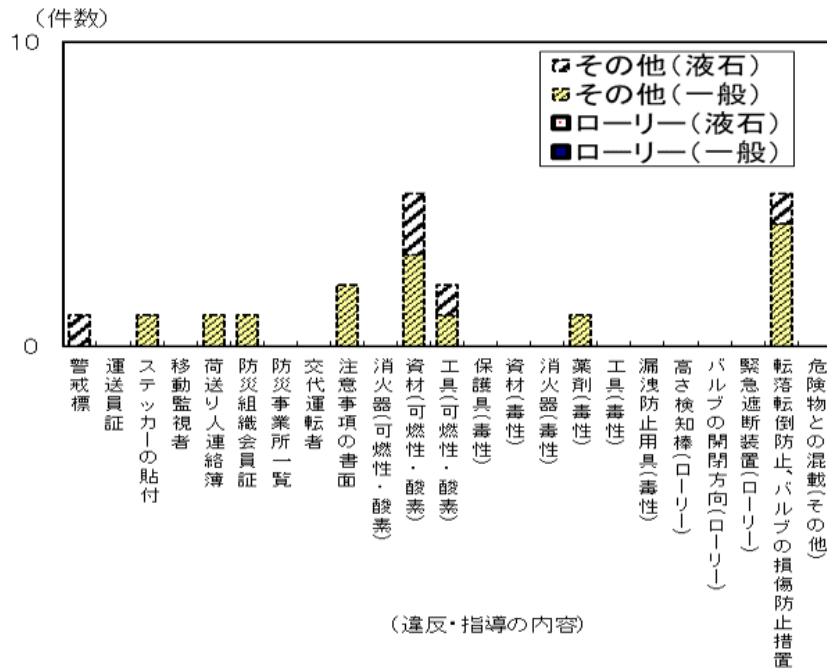
- ・移動監視者証の不携帯:1件
- ・注意事項の書面(イエローカード)の不携帯:2件
- ・転落転倒防止措置の不備:5件

主な不備事項

- ・運送員証の不携帯等:7件
- ・工具及び資材の一部未積載:9件
- ・消火器の有効期限切れ:1件

本年度の要注意点

- ・本年度は、資材及び工具の未搭載に加え、運送員証の不携帯及びイエローカードの不携帯が目立ちました。運行前に必要な免状・書面を携帯しているかの確認をお願いします。
- ・販売店は消費者である工事業者等に対し、高圧ガスの移動に関する基準の周知をする立場ですので、販売時に周知文書等を用いて移動時の注意事項等をしっかり伝えてくださるよう、今一度確認をお願いします。
- ・バラ積み車両においては、容器の積み過ぎ等により車両後部に約30cmの余裕がない状態になっている車両が例年数件見受けられます。無理のない配送計画で運行していただきますようお願いいたします。



(3)県からのお願い

高圧ガス移動に関わる事業者の皆様におかれましては、今後とも高圧ガス保安法第23条（移動）で定める保安上必要な措置及び技術上の基準の遵守と、安全運転をお願いします。

また、県では法令に加え、「神奈川県高圧ガス保安法行政指導指針」により、神奈川県内の高圧ガスの運送者に対して、公益社団法人神奈川県高圧ガス防災協議会が実施する運送者向けの講習を、決められた期間内に受講することなどを定めています。少量高圧ガス移動車を除く全ての高圧ガスの運送にあたり、御受講いただきますようお願いいたします。主な違反及び不備事項は、次のとおりです。

(参考) 過去5年間の路上取締りの結果一覧

年度	タンクローリー						その他						計							
	点検台数		適合台数		違反台数		点検台数		適合台数		違反台数		点検台数*		適合台数		違反台数		違反率	
	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石	一般	液石
2022	8	12	8	12	0	0	39	18	28	15	11	3	47	30	37	26	11	3	23.4%	100%
2021	5	15	5	11	0	4	24	27	21	24	3	3	29	42	26	35	3	7	10.3%	16.7%
2020	16	18	16	17	0	1	34	28	31	23	3	5	50	44	47	38	3	6	60%	13.6%
2019	17	22	16	19	1	3	53	33	45	29	8	4	70	55	61	48	9	7	12.9%	12.7%
2018	8	18	8	16	0	2	41	25	31	20	10	5	49	43	39	36	10	7	20.4%	16.3%

問合せ先 神奈川県くらし安全防災局防災部 消防保安課 LPガス・火薬・電気グループ
電話 045(210)3484(直通)

自主保安活動の推進により、事故の未然防止に引き続き御協力ください。

協議会からの“お知らせ”と“お願い”

2022年度第4回高圧ガス移動監視者講習会開催予定

(指定する高圧ガス(可燃性、酸素、毒性、液化石油、特殊高圧の各ガス)を一定数量以上移動(輸送)するには『高圧ガス移動監視者』の資格が必要となります。)

講習・検定開催日程	講習・検定会場	定員
(講習) 2023年1月26日(木)～27日(金) (2日間講習) 両日とも9時30分～17時30分 (検定) 2023年2月3日(金) 10時00分～11時30分	かわさき保育会館 大会議室 川崎市川崎区渡田新町3-2-8 「京急八丁畷」駅下車 徒歩12分	80名

※2023(令和5)年度より当該講習はオンライン講習となります。詳細は次号以降または当協議会ホームページにて逐次お知らせします。(申込方法等が変更になりますのでご注意ください。)

2023年度講習会(運送員・運送指導員)日程及び会場(予定)

回	実施日	会場	運送員	運送指導員
1	2023年 7月 11日(火)	かわさき保育会館	○×2	—
2	// 7月 27日(木)	横須賀市文化会館	○	○
3	// 8月 25日(金)	小田原生涯学習センター	○	○
4	// 9月 14日(木)	相模原南市民ホール	○	○
5	// 10月 13日(金)	神奈川公会堂	○	○
6	// 11月 9日(木)	藤沢市民会館	○	○
7	// 12月 6日(水)	鶴見公会堂	○	○

注) 第5回及び第7回の会場予約が6か月前の為、開催日が変更となる場合がありますので、直近の案内書、協会ホームページ等でご確認ください。※第1回川崎会場は午前/午後入替で運送員講習を2回開催予定。※第3回小田原会場は指導員講習(午後)を追加開催予定。

2023年度「行政・警察・消防・防災事業所連絡会議」実施予定日

回	地区	開催日	開催会場
1	川 崎	2023年 6月 9日(金) 午後2時より	かわさき保育会館
2	横須賀・三浦	// 6月13日(火) 午後2時より	横須賀市文化会館
3	湘 南	// 6月15日(木) 午後2時より	平塚商工会議所
4	県 西	// 6月20日(火) 午後2時より	おだわら市民交流センター
5	横 浜	// 6月28日(水) 午後2時より	波止場会館(横浜市港湾労働会館)
6	県央・相模原	// 7月 4日(火) 午後2時より	サン・エールさがみはら

注) 会場予約が5～6か月前の為、会場、開催日が変更になる場合がありますので、直近のご案内等でご確認ください。

事務局までお知らせ・ご連絡をお願いします。

社名、住所、組織変更等及び人事異動による変更等がありましたら、お手数ですが所定の様式に必要事項をご記入のうえ、防災協議会事務局宛お送りください。

● 社名変更 ● 組織変更 ● 住所変更 ● 電話/FAX 番号変更 ● 協議会ご担当者変更等

【事務局：電話 045-212-1454 FAX 045-212-1455】

E-mail : jimu@kanagawa-bousai-hpg.or.jp URL : <https://www.kanagawa-bousai-hpg.or.jp>

※「所定の様式」はホームページからもダウンロードできます。